



2025. 1. 31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2113

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

【山口県立山口図書館から臨時閉館のお知らせ】

山口県立山口図書館は、設備改修工事のため、令和6年12月2日（月）～令和7年3月31日（月）の期間、臨時閉館いたします。

《臨時閉館中のサービスについて》

○臨時閉館中は、インターネット・電話を使って予約申込をされた本を、県立図書館の「臨時窓口」で受け取って借りることができます。※詳しい内容は、こちらをご覧ください。→→→

○e-netを使った、県内公共図書館での受取は、これまでと同様ご利用いただけます。

◎お問合せ先・連絡先:山口県立山口図書館総合サービスグループ

（電話:083-924-2114 FAX:083-932-2817 Eメール:a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）



《学校等への団体貸出について》

○臨時閉館中も、メールやFAXでお申し込みの上、団体貸出をご利用いただけます。

館内での閲覧や選書はできません。貸出・返却は1階事務室となります。

※詳しい内容は、こちらをご覧ください。→→→

◎問い合わせ・連絡先:山口県子ども読書支援センター

（電話:083-924-2113 FAX:083-932-2817 Eメール:a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）



【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（原則：毎月第一火曜日、令和6年12月から令和7年3月まではお休み）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本—乳幼児から>

『もっちーん』 聞かせ屋。けいたろう/文 accototo/絵 Gakken 2024.11 ¥1200

ぺったんぺったん、きねとうすてついたおもち。のりをまいてしょうゆをたらそうかな、きなこをかけようかな。なっとうをのせてねばねばにするのも、えだまめやあずきのあんこいっしょに食べるのもいいな。よういができたらおはしてはさんと、3・2・1、もっちーん!色々な姿に変身しては「もっちーん」と伸びるお餅を、リズムカルなオノマトペとともに描く縦開きの絵本。

<絵本—3, 4歳から>

『トランポリンがありました』 楓真知子/作 絵本館 2024.11 ¥1400

やまのなかにおおきなトランポリンがひとつ。うまがみつけて、いちばんのりでポーンととんだ。たぬきときつねはいっしょに、にわとりはあさに、ふくろうはよるに…つぎつぎにやってきては、トランポリンであそぶどうぶつたち。あめのひだってゆきのひだって「ポーン」はとまらない。こんやはだれもいない、とおもったら…?心のままに飛び跳ねる楽しさを色彩豊かに描く絵本。

<絵本—5, 6歳から>

『こいぬのがっこう』 きたむらさとし/作 岩波書店 2024.11 ¥1600

ルーシーが「がっこう」にいているあいだ、いつもすばんのこいぬ。あるひ、どこかへむかうほかのこいぬたちをおいかけていくと、ついたのは「こいぬのがっこう」だった。いぬのせんせいについて、まちにでてみるが、みんなとはぐれてまいごになってしまう。おそわったことをいかして、ルーシーのまついえにかえることができるだろうか?学校への興味と期待が膨らむ絵本。

<絵本—小学校低学年から>

『ライオンのくにのネズミ』 さかとくみ雪/作 中央公論新社 2024.11 ¥1500

かぞくてライオンのくににひっこしてきたネズミのこ。あたらしいがっこうは、ことばもからだのおおきさもちがうライオンだらけ。こわくてしかたなかったネズミだが、リスとなかよくなったことをきっかけに、サッカーでライオンとしようぶすることに…。新しい土地や生活への不安を動物に投影した、異文化理解に一步踏み出す絵本。書店員が選ぶ絵本新人賞2024 大賞受賞作。

<絵本—小学校中学年から>

『おはなしはどこからきたの? 南アフリカのむかしばなし』 さくまゆみこ/文 保立葉菜/絵 BL出版 2024.11 ¥1800

小さな村にくらす女性マンザンダバは、あるとき子どもたちにせがまれて「おはなし」をさがしに出かけた。やっこのことで「おはなし」の見つかりそうなところを知っているというウミガメに会い、精霊の民がくらす海底の宮殿へつれていってもらうと…。南部アフリカの民族集団ズルーの人々に伝わる、口承文芸の起源を説明する昔話絵本。多色刷の木版画による力強い絵も見所。

<読み物ー小学校低学年から>

『山の学校キツネのとしよいいん』 葦原かも/さく 高橋和枝/え 講談社 2024.11 ¥1500

深い山のふもとにある小学校の図書館司書のかえでさん。ある時、子キツネのリンが窓から覗いていて、バーコードリーダーの「ピッ」の音が友達のこりちゃんに似ているからやってみようという。校長先生から図書委員に任命されたリンは張り切ってカウンターに立ち、子ども達も大喜びで本をもって並ぶことに…。図書委員に憧れる低学年の子どもたちが共感できる心温まる物語。

<読み物ー小学校中学年から>

『月曜倶楽部へようこそ!』 森埜こみち/作 くりたゆき/絵 講談社 2024.11 ¥1800

サッカーに夢中になり授業に遅れてしまった律と源太に、詩音は万葉集の一首をつぶやく。歌で気持ちを伝えることや芭蕉や子規の句に興味を持った律たちは、失恋したカンナも加えて短歌や俳句を作る倶楽部を結成し…。巻末に短歌と俳句についての解説あり。物語を味わいながら日本文化について理解を深める「おはなし日本文化」シリーズ。茶道、相撲等全10巻で刊行予定。

<読み物ー小学校高学年から>

『カトーレンの王』 ヤン・テルラウ/作 西村由美/訳 にしざかひろみ/絵 小学館 2024.11 ¥1600

カトーレン国王の急死後、6人の大臣は新しい王を指名する方法を考えると約束しながら長年政治を行っていた。17年後、少年スタッハが自ら王になると宣言。すると大臣たちから次々に7つの任務を命じられ、解決に向けて奮闘するが…。著者はオランダの政治家・原子物理学者・作家の経歴をもつ。本作は20以上の言語に翻訳、映画化された社会派児童文学で、日本語初翻訳。

<読み物ー中学生から>

『15歳の昆虫図鑑』 五十嵐美伶/著 講談社 2024.11 ¥1450

東北の田舎町にある岩ノ松中学校3年1組では、夏休み恒例の「ホテルのボランティア」への参加募集が呼びかけられた。参加を希望したのは転入生で虫が好きな蛍子だけだが、5人一組で参加する必要がある…。蛍子を含む5人の生徒たちが「自分自身」と向き合っていく物語。各章のタイトルは、その章の主人公を蛍子がたとえる虫。第64回講談社児童文学新人賞佳作入選作。

<ノンフィクションー小学校低学年から>

『ルービックの発明物語』 ケリー・アラディア/文 カラ・クレイマー/絵 竹内薫/訳 西村書店 2024.12 ¥1800

ハンガリー、ブダペストの町に住む物静かな少年エルノー・ルービック。パズルが大好きなエルノーは、美術や建築を学び先生となる。教材研究のために立方体を組み合わせていてひらめいたのは…。1974年、試行錯誤の末、発明されたものは、やがて世界中の人が夢中になるパズルとなる。ルービックキューブを発明したことが綴られた伝記絵本。巻末に関連コラムの掲載あり。

<ノンフィクションー小学校中学年から>

『いまは、ここがぼくたちの家』 パレバ・ガヴリル/文 マチエイ・シマノヴィチ/絵 田村和子/訳 彩流社 2024.12 ¥1800

ウクライナで戦争が始まり、生活が困難になった人々はポーランドの支援計画によって避難した。ドネツクから逃げてきた両親と3人の子どもたちの実話。長子である3年生のローマンの視線で、戦争の悲惨さや過酷な生活の様子が描かれる。難民や支援について考えるきっかけとなる1冊。本書は、原タイトル『Teraz tu jest nasz dom』原著第3版の翻訳。

<ノンフィクションー小学校高学年から>

『江戸を照らせ』 小前亮/作 中島花野/画 小峰書店 2024.11 ¥1700

日本史上、もっとも有名な編集者として知られる蔦屋重三郎(つたやじゅうざぶろう)。18世紀の後半、本の企画、編集、出版、広報に携わり江戸の出版業界を牽引する。喜多川歌麿や東洲斎写楽らなど数々の作家や絵師を見だし、交流をもちながら裏方として支えていく。時の政治の動きに翻弄されながらも、ひたむきに本や絵を人々に届ける生涯を描く歴史物語。

<ノンフィクションー中学生から>

『やなせたかし詩集 てのひらを太陽に』 やなせたかし/著 河出書房新社 2024.11 ¥900

『アンパンマン』の原作者、というイメージの強いやなせたかしだが、テレビアニメ『それいけ!アンパンマン』主題歌や「てのひらを太陽に」の作詞をはじめ、数多くの詩を残している。本書には、やなせたかしの詩集単位で代表作を取り上げ、6章に分けて収録、年譜・解題・詩集一覧を掲載。巻末の解説は、やなせたかしを師と仰ぐ作家・小手鞠いによるエッセイ。

<研究書>

『おすすめ!子どもの本 新しい時代をつくる350冊』 日本国際児童図書評議会(JBBY)/編 小学館 2024.11 ¥1600

JBBYはIBBY(国際児童図書評議会)の理念に共鳴し、1974年に設立、2024年に設立50周年を迎えた子どもの本の専門家集団。本書は、会が刊行した「おすすめ!日本の子どもの本」で紹介した児童書の中からさらに350冊を選び、6つのカテゴリーに分けて掲載。絵本・読み物・ノンフィクションのジャンル表記があり、対象年齢も幼児からYAまで幅広い。巻末に書名索引あり。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→
<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

